「*急性心不全入院患者における予後予測因子を検討する後向き観察研究*

～COEDO-AHF レジストリー～」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

2015 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の期間に急性心不全で入院となった患者さんを対象としております。

２．研究の目的

急性心不全は予後の悪い疾患で患者さんの数が近年急速に増加しており、心不全パンデミックと呼ばれています。一方で心不全に対する新規の薬剤が様々登場し、治療のオプションも増えてきています。そこで今回、我々は急性心不全で入院した患者さんの検査結果及び治療内容とその後の予後の関係を調べることにより、現状を分析し今後の診療に繋げることを目的に研究を行います。

３．研究期間

病院長の許可後～2030 年 12 月 31 日

４．利用または提供の開始予定日

2024 年 7 月 4 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

患者さんの身体所見、検査データ、診療記録を用いた研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である重城健太郎が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

急性心不全が主病名で当院に搬送された患者さんの情報を過去の診療録（カルテ）から収集します。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：	心臓内科	医師	教授	重城　健太郎
研究実施者：	心臓内科	医師	助教	阿部　拓朗
	心臓内科	医師	講師	小宮山　英徳
	心臓内科	医師	助教	河原　勇貴
	心臓内科	医師	助教	奥田　希子
	心臓内科	医師	助教	小形　円香
	心臓内科	医師	講師	石原　嗣郎
	心臓内科	医師	助教	谷　昂大
	心臓内科	医師	助教	安藤　敏行
	心臓内科	医師	助教	北川　快
	心臓内科	医師	助教	三好　晃太朗
	心臓内科	医師	助教	橋本　淳貴
	心臓内科	医師	助教	米山　史華
	心臓内科	医師	助教	沼賀　美紀

４．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター　病院長　別宮　好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550　埼玉県川越市鴨田 1981
埼玉医科大学総合医療センター
担当　心臓内科　教授　重城　健太郎
TEL：049-228-3587（直通）
（平日 9 時～17 時）

〇研究課題名：急性心不全入院患者における予後予測因子を検討する後向き観察研究
～COEDO-AHF レジストリー～

〇研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター　心臓内科　重城　健太郎